Version 11 October 2026
Change Log
Amendment 01 : 8.1, 10.1, 10.3, 10.4, 11.2, 添付図 1, 添付図 2 change
Amendment 02 : 10.3, 10.4, 11.2 change

第 46 回ミニトン全日本選手権大会

帆走指示書(Sailing Instructions)

大 会 名 ： 第 46 回ミニトン全日本選手権大会
共同主催 ： 公益財団法人日本セーリング連盟（ 承認番号 2026-51）
特別加盟団体日本ミニトン協会
後　　援 ： 鹿児島県　 鹿児島市
協　　力 ： 外洋南九州　 鹿児島県セーリング連盟　 オーシャンヨットクラブ
運　　営 ： 第 46 回ミニトン全日本選手権大会実行委員会
開催期間 ： 2026 年 10 月 10 日(土)～12 日(月・祝)
開催場所 ： 鹿児島港 ＫＭＳヨットヤードを泊地とする

【NP】の表記は、艇は、他艇の規則違反に対し抗議できないことを意味する。これは、RRS 60.1 を変更している。
【SP】の表記は、規則違反に対する標準的なペナルティーが、レース委員会またはテクニカル委員会によって、審問なしに課される可能性があることを意味する。これは RRS A5 を変更している。

1. 適用規則
1.1. 本大会は『セーリング競技規則 2025－2028』に定義された規則（以下、RRS と略）を適用する。
1.2. セールに文字やセール番号をつけることができる。IRC 規則 2026、Part A 及び B・C を適用する。なお、艇に搭載するセールの変更を認める。（IRC 規則 21.1.5(d)及び(e)の変更）
1.3. 外洋特別規定 2026-2027 付則 B インショア・レース用特別規定及び OSR 国内規定。
1.4. レース公示と帆走指示書に矛盾が生じた場合は、帆走指示書を優先する。

2. 帆走指示書の変更
2.1. 帆走指示書（以下、SI と略）に変更があった場合は、レース開催日の 09: 00 までに掲示する。ただし、レース日程の変更は、発効する前日の 20:00 までに掲示される。
2.2. SI をやむを得ず海上で変更する場合は、予告信号までに本部船に L 旗を掲げ口頭で変更の内容を伝える。変更を理解した艇は挙手にて応対すること。

3. コミュニケーション

3.1. 競技者への通告は、第46回ミニトン全日本選手権大会のホームページに2026年10月9日(金)から10月12日（月）までオンライン公式掲示板を設置する。また、コミュニケーションツールとしてLINEオープンチャットを使用する。

3.2. 【DP】艇長会議は、2026年10月10日（土）10:00～11:00にKMSヨットヤードで行う。参加各艇の艇長は参加すること。

3.3. 公式掲示板および大会公式LINEオープンチャット「第46回ミニトン全日本」

公式掲示板URL ： https://www.miniton.jp/46th-all-japan-miniton-championship

LINEオープンチャットURL

オープンチャット「第46回ミニトン全日本」

https://tinyurl.com/2yag9wfo

参加コード：miniton

LINEオープンチャット：QRコード

※ 登録する際のプロフィール名は、艇名･氏名とし、参加艇は少なくとも1名がLINEオープンチャットに登録をすること。

4. 行動規範

4.1. 【DP】競技者および支援者は、主催団体やレース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会からの妥当な要求に応じなければならないならない。

4.2. 【DP】競技者および支援者は、主催団体によって提供された装備の取扱い、または提供された広告の掲示を、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

5. 陸上で発する信号

5.1. レース運営に関する信号は、陸上では発しない。

6. 大会日程

6.1. 大会日程は下記の通りである。

2026年10月10日（土）

08：00～10：00 受付、インスペクション、体重測定

10：00～11：00 艇長会議（KMSヨットヤード）

13：25 インショア・レース予告信号

18：00 ウエルカムパーティー（奄美の里予定）

2026年10月11日（日）

08：00～08：30 出艇申告、体重測定（レース参加の未計測者のみ）

09：55 インショア・レース予告信号

続いて次のレース

2026年10月12日（月・祝）

07：00～07：30 出艇申告、体重測定（レース参加の未計測者のみ）

08：55 ショート・ディスタンス・レース予告信号

16：30 ～ 表彰式・閉会式予定

6.2. 本シリーズ・レースは 5 レース（イン ショア・レース 4 レース、ショート・ディスタンス・レース 1 レース）で構成される。
6.3. 本シリーズ・レースは、1 日最大 3 レースまでとする。
6.4. 本シリーズ・レースは、大会日程 2 日までに成立したインショア・レースが 4 レース以下の場合は、大会最終日に予定しているショート・ディスタンス・レースを行う前にインショア・レースを実施する可能性がある。 この変更を行う場合は、当日の 07：00 までにレースのスケジュールを公式掲示する。
6.5. 1 つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低 5 分以前に、音響 1 声とともにオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚する。

7. クラス旗
7.1. クラス旗は、数字旗 7 とする。

8. レース・エリア
8.1. インショア・レースは鹿児島湾浜平川港沖、ショート・ディスタンス・レースは谷山二区沖―喜入基地沖海域の海面とする。詳細は【添付図 1】に示す。

9. コース
9.1. 【添付図 2】はインショア・レース及びショート・ディスタンス・レースで通過するそれぞれのマークブイの順序及び通過する側を含むコース図を示す。
9.2. インショア・レースにおいては、予告信号以前にレース委員会の信号船（以下、シグナルボートという）に、最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

10. マーク
10.1. インショア・レースで使用するマーク 1・2 は黄色円錐形ブイする。ショート・ディスタンス・レース時は~~沖小島と~~黄色円錐形ブイ~~付近~~とする。
10.2. SI 12 に規定される新しいマークは、緑色円錐形ブイである。
10.3. スタート・マークは、スターボードの端にあるシグナルボートと、ポートの端の~~赤色のロボットマーク~~青色円錐形ブイとする。
10.4. フィニッシュ・マークは、青色旗を掲げたレース委員会艇と~~赤色のロボットマーク~~青色円錐形ブイとする。

11. スタート
11.1. レースは、RRS 26 を用いて、予告信号をスタート信号の 5 分前とし、スタートさせる。
11.2. スタート・ラインは、スタート・マーク上でオレンジ色旗を掲揚しているポールと~~赤色のロボットマーク~~スタート・マークの間とする。
11.3. スタート信号後 5 分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった（DNS)』と記録される。これは付則 A 5.1 と A 5.2 を変更している。

12. コースの次のレグの変更

12.1. コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し（またはフィニッシュ・ラインを移動し）、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

13. フィニッシュ

13.1. フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側との間とする。

14. ペナルティー方式

14.1. 【DP】レース公示の規則、クラス規則、RRS 付則 G および RRS 77 の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会が裁量により失格より軽減することができる。

14.2. プロテスト委員会は裁量ペナルティー【DP】の目安（ガイドライン）を、1 日目の 09:00 までに大会公式掲示板に掲示する。

15. タイム・リミット

15.1. タイム・リミットは下記のとおりとする。これは、RRS 35 と A4、A5 を変更している。

15.1.1. インショア・レースにおいて、先頭艇がコースを帆走してそのフィニッシュ後 20 分以内にフィニッシュしない艇、およびスタート信号後 90 分のいずれか遅い時間内にフィニッシュしない艇は「DNF」と記録される。

15.1.2. ショート・ディスタンス・レースにおいて、先頭艇がコースを帆走してそのフィニッシュ後 60 分以内にフィニッシュしない艇、およびスタート信号後 6 時間のいずれか遅い時間内にフィニッシュしない艇は「DNF」と記録される。

16. 審問要求

16.1. 抗議、救済締め切り時間は、その日の最終レースで、最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースは行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。時刻はオープンチャットに掲示される。

16.2. 審問要求の様式は、KMS ヨットヤードにあるレース・オフィスで入手できる。

16.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後 30 分以内に通告が掲示される。審問は、、KMS ヨットヤードにあるプロテスト・ルームにて掲示された時刻に始められる。

16.4. 抗議しようとする艇は RRS61.1 に加えて、以下を行なわなければならない。これは RRS61.1 を変更している。

16.4.1. フィニッシュ後、直ちにレース運営艇に抗議しようとする相手の艇名、エントリー番号、又はセール番号とその旨を通知しなければならない。

16.4.2. フィニッシュできなかった場合には、できるだけ早い時期に運営艇または大会本部に抗議しようとする相手の艇名又はセール番号と抗議する旨を通知しなければならない。

17. 修正時間・順位・得点

17.1. シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。

17.2. 得点は、、インショア・レース×1、ショート・ディスタンス・レース×1.2 として計算する。

17.3. 艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。ただし、インショア・レースが 4 レース以上成立した場合は、インショア・レースの中で最も悪い得点を除外したレース得点合計とする。

17.4. インショア・レースが 4 レース以上完了しなかった場合、各艇のシリーズ得点は、インショア・レースのすべて得点とショート・ディスタンス・レースの得点合計とする。

17.5. 各艇の所要時間に TCC を乗じた修正時間（秒以下は四捨五入）を算出する。順位は、修正時間の小さい方を上位とし、順位に合わせて得点を付与する。

18. 安全規定

18.1. 【NP】【SP】出艇申告はレース本部で入手できる所定の申告書（乗員リスト）に必要事項を記入の上、艇長が署名し、本条文の【6 大会日程】で記載されている受付時間にレース本部に提出すること。これを怠った場合は、当日の最初のレースにタイムペナルティーとして所要時間に 3 分を加算する。

18.2. 【NP】【SP】各艇は、帰着後、抗議締切時刻までに、大会公式 LINE オープンチャットに帰着申告しなければならない。これを怠った場合は、当日の最後のレースにタイムペナルティーとして所要時間に 3 分を加算する。

18.3. 【NP】【SP】出艇申告しスタートしない艇またはリタイアした艇はその旨を直ちにレース本部に報告しなければならない。この報告は当該艇の責任者が行い、第三者に伝言を託してはならない。これを怠った場合は、時間的に最も近いレースにタイムペナルティーとして所要時間に 3 分を加算する。

18.4. 【DP】【NP】レース参加者は、離岸～レース中～着岸までライフジャケットを使用できる状態で着用しなければならない。

18.5. インスペクション（装備と計測のチェック）

① 書類インスペクションを全レース艇に対して確認する。

② インスペクションの際には艇の責任者が立ち会うこと。

18.6. 【DP】レース参加艇は、海上確認からフィニッシュするまでの間または棄権するまでの間、レース旗（クラス旗）をバックステーに掲揚すること。レース旗の下端がデッキから 1.5m 以上に取り付けること。

19. 乗員の登録、乗員の交代と装備の交換

19.1. 複数の艇に重複しての乗員登録は認められない。

19.2. 乗員登録された乗員の間でその交代は認められる。

19.3. 各レースにおいて海上で選手交代する場合は、その予告信号前までにシグナルボートへ伝え、帰着後速やかに大会公式 LINE オープンチャットに交代した選手名を入力すること。

19.4. 【DP】損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会による承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、その委員会に行わなければならない。

20. 装備と計測のチェック

20.1. 艇または装備は、クラス規則、レース公示および帆走指示書に適合しているか、いつでも検査されることがある。

20.2. [DP] 水上でレース・オフィシャルに指示された場合、艇は検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

21. 運営艇

21.1. 運営艇の標識は次のとおりとする。

・レース委員会艇・・・・・・白地に赤の「RC」の文字
・プロテスト委員会艇・・・・赤地に白の「PROTEST」の文字
・テクニカル委員会艇・・・・白地に「MASUREMENT」の文字

22. 【DP】支援チーム

22.1. 支援艇の使用については、レース委員会に事前に申請し、同委員会の許可を取得し、かつ、その指示に従うこと。(艇種・船名・責任者・連絡先・チーム名)

22.2. チーム・リーダー、コーチとその他の支援者は、最初にスタートする準備信号から、すべての艇がフィニッシュするまたはリタイアする、もしくはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールまたは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。また支援艇は支援するレース艇がインスペクションを受けている間は接舷、支援活動は禁止する。この規則に反した場合にはその支援艇に関連するすべての艇にペナルティーが科せられることがある。

23. 【DP】上架・指定繋留場所

23.1. レース参加艇はシリーズの最初のスタート以降、最終レースの最終艇のフィニッシュまでの期間中、上架してはならない。

23.2. レース参加艇で上架の必要がある事由が発生した場合には、レース委員会にその事由を申告して、書面による許可を求めなければならない。

23.3. 係留は、レース委員会より指定された場所にしなければならない。

24. 賞

24.1. 賞を次のとおり与える。

総合 1 位　　総合優勝 総合優勝杯
総合 2 位　　総合準優勝杯
総合 3 位　　総合 3 位杯
ショートデイスタンス・ファーストホーム賞

25. リスク・ステートメント

25.1. RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。こ

れらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

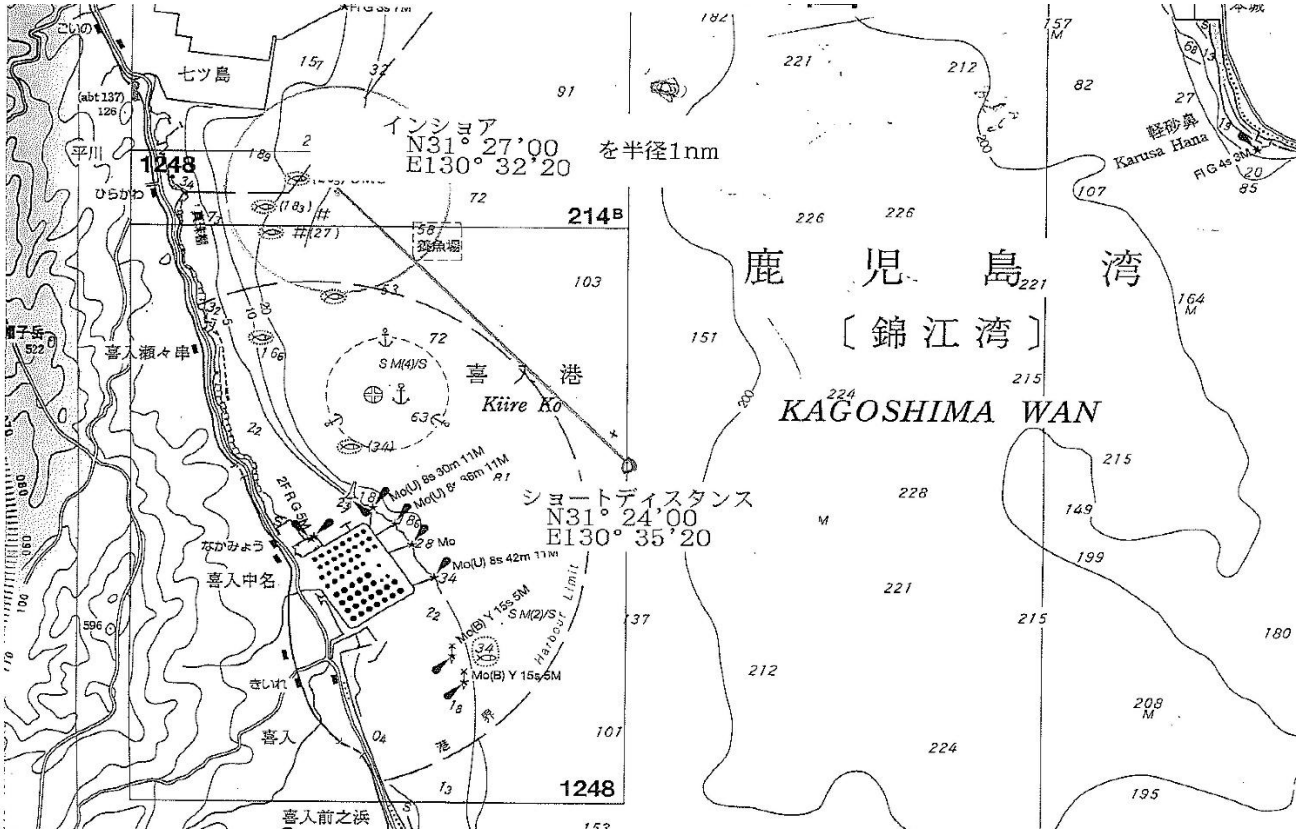
25.2. この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する(RRS 3『レースをすることの決定』参照)。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

26. その他

26.1. 本大会に関係する、参加者、参加艇、その他大会に関する全ての動画、スチール写真および撮影された映像、またはその製版については、参加者が対価を求めることなく、主催者の独自の判断で使用する権利を与えるものとする。

26.2. 大会本部は、2026 年 10 月 10 日（土）から 10 月 12 日（月）18：00 迄 KMS ヨットヤード内に置く。

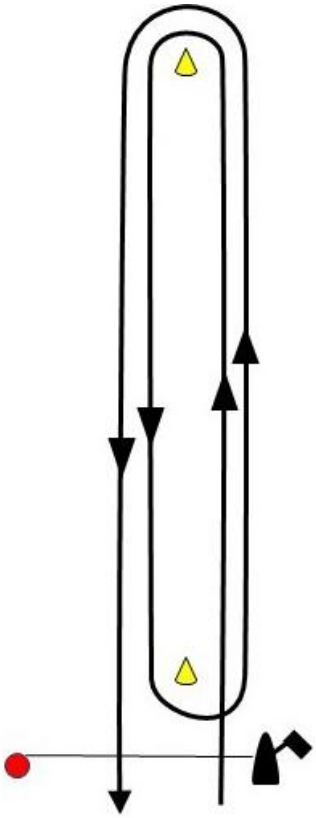
【添付図 1】レース・エリア

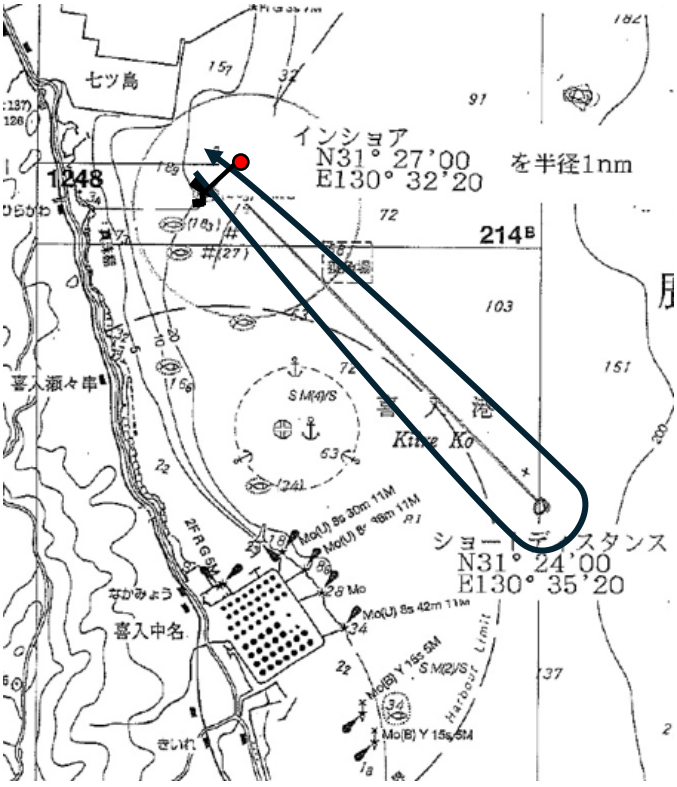


【添付図 2】

インショア・レース

コース：Start→1 →2→1→Finish



ショート・ディスタンス・レース

コース：Start→1→Finish